

令和6年度 盛岡市議会高校生議会委員長報告（委員会提言内容）

【子ども・子育て委員会（盛岡第二高等学校）】

- 1 屋内だけでなく、屋外の公園にバスケットゴールやサッカーゴールなどの遊具の設置することや天候に左右されない屋内レジャー施設に身体を動かすゲームなどを新たに開設すること
- 2 学校と町内会が協力して安全マップを作成し、子ども 110 番の家の存在と場所を児童や市民に周知すること
- 3 学校と町内会の連携による住宅地等への街灯の整備を進めることや、反射板の付いた^{たすき}襷や笛などの配布を行うこと
- 4 通学路の損傷に関する通報機能のさらなる周知を行うこと
- 5 不審者に関する市民への情報共有機能を新設すること

【公共交通委員会（盛岡市立高等学校）】

- 1 運転手の待遇改善に市が積極的に関与することや自動運転バスを採用すること、運転手の魅力向上や、運転免許取得年齢の引き下げなどで、バスの運転手不足を解消すること
- 2 IGRで実施している通学助成制度などを参考に、バスについても補助制度を拡充してバス料金の値下げに取り組むこと
- 3 他校との合同利用などバス乗車率の向上に努めて、滝沢方面も含めて、スクールバスを復活すること

【農商工連携委員会（盛岡商業高等学校）】

- 1 地場産業の活性化を目指し 商品開発を進め、市内近郊へ道の駅や産直を建設し、定期的なマーケットを開催することで地産地消を促進するよう取り組むこと
- 2 新産業創出を試みる人が盛岡に移住しやすくなるよう、空き家バンクによる住居の提供やリフォーム費用の補助などによる空き家の有効活用とともに、テレビやチラシ、SNS などの各種メディアを活用して情報発信を進めること
- 3 労働者不足解消とスキルアップ及び所得向上のため、市が市内労働者の副業を推進する取り組みを実施すること
- 4 地元で働く人材を輩出するため、商学部経営学科を有し、盛岡独自の学びがある（仮称）盛岡市立大学を創設すること

【環境保全委員会（盛岡市立高等学校）】

- 1 すべてのスーパーなどでの「てまえどり」を推進する広報活動と企業との連携を行うこと
- 2 規格外品を扱う産直マップの作成により産直のメリットの周知を促進すること
- 3 野菜を再利用した絵の具の利用や絵本を活用した幼児児童へのフードロスの教育機会を創出すること